

令和5年1月31日

東日本高速道路株式会社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

町では、東日本高速道路株式会社（以下「同社」という。）が発行するソーシャルボンド（以下「本債券」という。）への投資を行いましたのでお知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことで、グリーンボンド、サステナビリティボンド等とともに、ESG^(注1)投資の対象となるものです。

本債券の発行による調達資金は、同社が担う高速道路事業に充当され、「地域活性化」、「災害対策」、「交通安全の推進」、「環境保全」などの社会貢献活動に活用されます。

高速道路事業は、国連の策定する持続可能な開発目標（SDGs）^(注2)のうち、「目標3：すべての人に健康と福祉を」、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」、「目標13：気候変動に具体的な対策を」の達成にも貢献します。

町は、本債券を始めとしたソーシャルボンド等への投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

岩泉町長 中 居 健 一

〈本債券の概要〉

銘 柄	東日本高速道路株式会社第101回社債 （一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 併存的債務引受条項付）
年 限	5年
同社発行額	200億円
発行日	令和5年1月31日

注1 ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）のことで、「ESG投資」とは、これらの課題を解決するためのプロジェクトに対し行う投資のこと。

注2 持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成27年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された加盟各国が2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標のこと。17のゴールと169のターゲットで構成されている。